

非接触を可能にする人体通信(HBC)の 基礎と技術課題およびその対策

☆ホームページはこちらから ⇒⇒⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2112105>

- ◆日時: 2021年12月20日(月) 10:30~16:30
- ◆会場: 江東区産業会館 第1会議室
- ◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

⇒1名につき**36,300円(税込、資料付き)**
2名同時申し込みの場合、1名につき**22,000円(税込)**

講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

●講師: アンプレット通信研究所 代表 所長 博士(工学) 根日屋 英之 氏

【受講対象】

電子機器、医療機器、制御装置などの設計、開発の担当者、難解なアンテナ近傍の電磁界の振る舞いを理解したい非接触スイッチの設計者やアンテナ(電極)設計者、非接触技術を扱う製品の営業を担当する方々。

【習得できる知識】

遠距離との通信を目的としている無線通信と原理が大きく異なる近距離無線の原理は、技術について論じられている書籍や論文が非常に少ない。そのため人体通信の原理を知りたいが、勉強する糸口を見つけることができないというご相談を受けることも多い。本セミナーでは、約15年の人体通信機器の開発経験を有する講師が、自らの設計経験から見てきた電磁気学と異なる視点での人体通信の原理を解説する。本セミナーを受講することにより、近距離無線の原理を習得することができ、人体通信機器の設計方針が見えてくる知識が得られる。

【講座の趣旨】

本セミナーでは、人体通信技術を近距離無線市場で普及させる目的で設立された人体通信コンソーシアムの会長を務める講師が、人体通信の原理、他の無線通信技術との特徴の違い、人体通信技術の進化などを整理し、コロナ禍でニーズが急速に高まっている人体通信技術を用いた「非接触技術」に興味を持つみなさまに、人体通信技術と特徴を短時間で理解していただきます。

【プログラム】

- はじめに
1. 広義の人体通信 IEEE 802.15.6 の概要
 2. 狭義の人体通信 電界通信の概要
 3. 人体通信(非接触の電界通信)の原理
 - 1) 電界と磁界
 - 2) 人体近傍の電界(人体通信のメカニズム)
 - 3) 人体は誘電体
 - 4) 人体を挟んだコンデンサ
 4. 人体通信の消費電力が小さい理由
 - 1) 人が近づくと起動する人体通信
 - 2) 低消費電力の人体通信モジュール
 5. コロナ禍でニーズが高まった「非接触技術」
 6. 人体通信受信機を用いた心電計
 7. 人体通信のビジネス導入事例

《質疑応答・名刺交換》

(講師紹介割引)『人体通信【東京開催】』セミナー申込書

FAX番号: 03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>